

■ PW1100G-JMエンジン

プロジェクトの概要

民間航空機市場の中で最大の需要を占める中型狭胴機は、就航開始後20年以上を経過した機体の代替需要と市場拡大に伴い、更に経済性および環境適合性に優れた航空機が求められています。

こうした市場の要求を受けてエアバス社は、A320型機(120~200席クラス機)の更なる低燃費、低公害そして低騒音を実現するため、新たなエンジンを搭載するA320neo型機の市場投入を決定し、そのエンジンには米国United Technology Corporation (P&W社)を中心に日・米・独3ヶ国が国際共同開発するPW1100G-JMが選定されています。

PW1100G-JMエンジンは、Geared Turbo Fan (GTF) システムを採用することで従来エンジンよりもバイパス比を大幅に上げた燃費に優れた環境に優しい高性能エンジンです。

PW1100G-JMプロジェクトは、参加企業設立の合弁会社を主体として事業運営がなされ、日本側のプログラムシェアは23%で当協会を事業主体として(株)IHI、川崎重工業(株)、三菱重工航空エンジン(株)が参画しています。

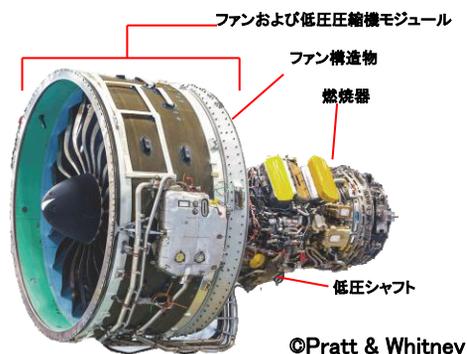


2014年9月25日初飛行



©Pratt & Whitney

当協会(JAEC)の担当部位



©Pratt & Whitney

エンジンの仕様

緒元\エンジン	PW1100G-JM
全体	ギアード・ターボファン
推力(ポンド)	24,000~35,000
ファン径(インチ)	81
バイパス比	約12
各要素段数	圧縮機 : ファン:1段、低圧: 3段、高圧: 8段 タービン: 高圧: 2段、低圧: 3段

開発スケジュール

2012年	11月	開発エンジン初号機運転
2014年	9月	初飛行
	12月	FAAからPW1100G-JMエンジン型式承認取得
2015年		商業運航開始

